

取組年度：2004年

のマンションを100年持たせる
管理組合法人
労住まきのハイツ
修繕委員会

各戸電気容量アップ

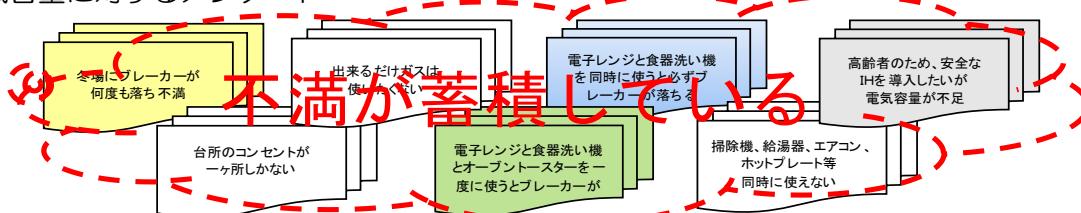
(電気設備改修工事)

◇各戸電気容量アップ工事の背景

- 建築時に無かった様々な電化製品が普及、生活環境の変化に伴い、各家庭の電気使用量が増加し許容範囲(4kw)を超えてきた
- 各戸の分電盤には漏電ブレーカーが付いてなく、老朽化による漏電火災が懸念される
- 100年マンションへの展望に見合った電気設備を改修し、安全と快適性を確保したい

◇住民アンケートの実施

1) 電気容量に対するアンケート



- ①調理家電の使用頻度が高く、同時に頻繁にブレーカーが落ちる
- ②高齢化のため、安全の意味でガスから電気に切り替えたい

◇電気設備を容量UPに見合う仕様に更新

- 1)幹線ケーブルをサイズUPして更新(電気室～各戸パイプスペース間)
- 2)高圧トランス・低圧配電盤を更新

◇工期 2004年5月～11月

◇各戸の電気容量増量

- 1)関西電力のアドバイスを受けながら… 各戸 4kw ⇒ 6kwに增量
- 2)各戸の分電盤を、漏電ブレーカー付に取替

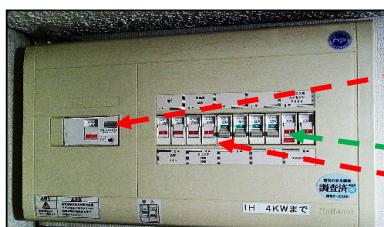
工事中、屋内立ち入り・停電等への
住民の協力が不可欠

旧ブレーカー



- 40Aでは生活様式の変化に対応出来ない
- メインブレーカー、漏電ブレーカーが付いてない
- 老朽化による漏電火災が懸念される

新ブレーカー



- 60Aで生活様式の変化に対応出来る
- 漏電遮断機付主開閉器メインブレーカー
- 使用していない分岐ブレーカー(緑の表示)
- 現在使用している分岐ブレーカー(赤の表示)

◆28年前の電気設備を改修し、安全性と快適性の確保が出来た